

喉に異物を詰まらせる事故！ について

—西日本防災システム

お母さん！ 御注意！

NBS119

こんな悲しい事故が発生しました！

事故！

3歳の男児が、直径3・5センチほどのスーパーボールを口に入れて遊んでいるのに気づいた母親が、

「**危ないのだから口から出して!**」と叱ったところ、**驚いて**吸い込んでしまったようです。

母親は口に指をいれ、取り出そうとしましたが指では取り出せず、救急搬送先の病院で特殊な医療器具を使って摘出されましたが、病院到着までに**40分**近く経過していて、意識も自発呼吸も回復しないまま**悲しいこと**に半年後に亡くなってしまいました。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ 

喉に異物を詰まらせる事故！

について

—西日本防災システム

お母さん！ 御注意！

NBS119

スーパーボールは丸くて弾力があり、表面が滑らかなため、喉にぴったりとはまり込みやすい形状です。逆に一度はまり込むと、医療器具を使っても、つるつるとした表面をうまくつかめず、容易に取り出すことはできません。

子供が窒息しやすいものとして、**ミニトマト**や**大粒のブドウ**、**みたらし団子**、**こんにゃく入りゼリー**、**あめ玉**などがあります。これらの形や大きさはほぼ同じで、これらの大きさや形状の物に特に注意が必要です。

このような悲しい事故を防ぐには、子供がのみ込めないよう欧州の玩具安全基準のように**直径4・5センチ以上**のサイズに規制をするか、万のみ込んで呼吸できるよう玩具に通気孔を開ける指導をすることです。かつてボールペンのキャップによる子供の窒息事故が多発したため、現在ではメーカーがキャップに通気孔などを設けています。

ところが、スーパーボールの場合はなかなか改良されないのが現状です。**ほとんどが輸入品**のため規制が難しく、規制の裏付けになるような事故統計もありません。ですから特に保護者の注意が必要です。

同様に窒息のリスクが高い**ミニトマト**や**大粒のブドウ**などの食品については、喉にちょうど詰まるサイズというのが一番の問題です。大人と違って、子供は奥歯が生えそろうっていないため、うまくかみつぶせません。半分に切っても子どもにはまだ大きいため、**四つに分割**するなど、小さくすることが推奨されます。

事故



御注意！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ →